

## 令和5年度 第3学期始業式 式辞(R6.1.9)

校長 杉本 和博

本来ならば、新年の始まりに全校が集まって「あけましておめでとうございます。」と言うべき節目なのですが、皆さんも知っての通り、大きな地震や飛行機事故がありました。そこで、まず初めに能登半島地震で被災された方々と飛行機事故でお亡くなりになった方々に、心よりのお悔やみを申し上げます。能登半島を中心に、まだまだ余震が心配される中ではありますが、被災地の皆様には、一日も早い復興と安心できる生活の回復をお祈りしています。

さて、新しい年・令和6年を迎えました。西暦では2024年、干支は「辰(たつ)」と言われますが、十干十二支という正確な干支だと、「甲辰(きのえたつ)」となります。この「甲(きのえ)」という言葉聞いて、「聞き覚えがあるぞ」と思った人もいることでしょう。それは、人気アニメ「鬼滅の刃」の主人公が属する鬼殺隊での最上位、つまり「柱」の階級が、この「甲(きのえ)」だからですね。その階級は、「乙(きのと)」「丙(ひのえ)」「丁(ひのと)」…と続き、最下位の「癸(みずのと)」までの10段階があります。この10段階は干支の「十干」から来ているようで、この「十干」と「十二支」、つまり「子、丑、寅…」とを組合せて、干支は60通りあります。

ところで60歳のことを「還暦」と言います。その時には長寿のお祝いで「赤いちゃんちゃんこ」を着ます。この「還暦」とは、字が表すとおり「元の暦(自分が生まれた年の干支)に還る」という意味で、赤いちゃんちゃんこを着ることには「赤ちゃんに還る」という意味もあるそうです。今では60歳程度ではまだまだ長寿とは言えませんが、寿命が長くなかった昔では、60歳でも長寿だったのだと思います。皆さんの家族や親戚にも還暦を迎える人がいたら、ぜひお祝いをしてあげてくださいね。

話を戻しますが、今年の「甲辰(きのえたつ)」の干支は、十干の一番目の文字「甲(きのえ)」が物事の「はじまり」、十二支の「辰」は万物が成長して動きが盛んになることを象徴しています。つまり、2024年は「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えそうです。2学期の終業式で皆さんに、「新年から何かを始めてはいかがでしょうか。」と勧めていましたが、今年は何か始めるにはいい年のようです。まだ「新年の計」を立てていない人は、今からでも遅くないので、この機会を大いに活用しましょう。